



2020年5月1日

各位

会社名 株式会社ボルテージ  
代表者名 代表取締役会長兼社長 津谷 祐司  
(コード番号: 3639 東証第一部)  
問合せ先 財務本部長 大島 小百合  
(TEL. 03-5475-8193)

## 当社株式の時価総額に係る猶予期間の解除に関するお知らせ

当社株式につきまして、2020年4月において、月間平均時価総額及び月末時価総額が20億円以上となり、東京証券取引所の基準に基づく市場第二部銘柄への指定替えに係る猶予期間が解除されましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 当社株式の時価総額について

当社株式は、2020年3月末時点において、月間平均時価総額及び月末時価総額が20億円未満となり、東京証券取引所の有価証券上場規程第311条第1項第4号に定める市場第二部銘柄への指定替えに係る猶予期間に入りましたが、下記（ご参考）の通り、2020年4月における月間平均時価総額及び月末時価総額が20億円以上となったことから、猶予期間入りの指定が解除されることとなりました。

#### （ご参考）

東京証券取引所における当社株式の2020年4月の月間平均時価総額: 2,163,434,796円

東京証券取引所における当社株式の2020年4月の月末時価総額: 2,385,999,575円

東京証券取引所における当社株式の2020年4月30日終値: 389円

東京証券取引所における当社株式の2020年4月30日上場株式数: 6,133,675株

#### 2. 今後の見通しについて

当社は、4月1日付「当社株式の時価総額に関するお知らせ」にて開示しました通り、以下3つの戦略を着実に推進し「足元黒字化&次の成長」を実現してまいります。なお、戦略の進捗等については、PR情報や決算発表資料等にて、適時、開示する予定です。

##### ①「物語アプリ」そのものを進化させる「アプリ進化戦略」

当社の主力である「物語アプリ」について、長期配信中の「現行タイトル」のプロモーション増強、また立ち上げ段階にある「育成タイトル」の機能改善や更新増強を図ります。グローバル展開として、2020年2月より中国向けタイトルを配信開始したほか、香港・台湾等へのタイトル配信も準備中です。また、日本・香港・アメリカ等に発売中のNintendo Switch向けタイトルは、黒字基調で推移しており、今後も計画的にタイトルの投入や配信地域の拡大を行う予定です。

##### ②「物語アプリ」とリアルイベントの相乗を図る「ファンダム戦略」

当社タイトルIPを用いたイベント・ライセンス展開（リアルイベント、グッズ、映像・音楽等）は、運営ノウハウが蓄積され、黒字化に成功した案件も増えつつあります。今後も、新型コロナウイルス感染症の拡大に注意しつつ、規模拡大と運営効率化を両立すべく積極展開してまいります。

##### ③「物語ノウハウ」を活用し、成長市場に進出する「多角化戦略」

当社は、10年以上にわたる「物語アプリ」事業で培った「物語の制作力」「女性ニーズの把握」等のノウハウを活かし、隣接する成長市場である「電子書籍事業」への進出を開始しました。

2019年12月には第1弾として投稿プラットフォーム型の恋愛チャット小説アプリ「KISSMILLE（キスマイル）～100シーンの恋・チャット小説」を配信開始しており、今後は同アプリの改善・拡大を行います。また、電子コミック分野について、オリジナルレーベルとストアの立上げを準備し

ています。

以上の取り組みを推進し、引き続き東京証券取引所市場第一部における上場を維持できるよう努めてまいり所存です。株主の皆様をはじめ関係者の皆様には引き続きご理解とご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

以上